

## 第2回 三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会に関するご意見について

資料1…令和2年度 図書館・企画推進係事業報告

資料2…令和2年度 三郷市図書館施設別利用状況

資料3…電子図書館統計

資料4…令和3年度 日本一の読書のまち三郷読書活動事業予定について

資料5…第2次日本一の読書のまち三郷推進計画について

番号	資料	内容
1	資料1	読書普及活動として「ふれあいブックワゴン」はきわめて有意義、可能ならば駅前に「返却」ポストがあるとよいと思います。
	資料2	利用状況改善には、なんとかして「感染防止対策をとり開館」してほしい。また少数で分散させるには、休館日を設けずに無休体制が考えられるかも知れません。
	資料3	今後は電子書籍にシフトせざるを得ませんが、紙媒体の良さとバランスをとってください。
	資料4	ぜひ実現していただきたいと思います。
	資料5	よく整理されていると思います。
2	資料1、2、3	<p>新しい感染症に対する対策をする以前からこの新しい感染症に対して最も対応できている施設が図書館であります。対策をとれば更に感染のリスクは他の施設よりも大幅に低くできるのに緊急事態宣言で2回も臨時休館になったのは非常に残念です。1回目は仕方ないとしても2回目は図書館職員や関係部署の方の努力が1回目解除からありましたので、臨時休館しなくてもよかったと考えます。</p> <p>しかしながら、臨時休館と外出がなかなかできない社会情勢の中で電子図書館サービスが注目され、登録者数が伸びたことは今後の図書館サービスにとって大きなチャンスともなったといえます。PCなら自宅に図書館、スマホなら手元に図書館が常にあるのと同じです。蔵書量はまだまだ限られていますが『訪れる図書館』から『自宅にある図書館』『手元にある図書館』に存在が広がったことを意味します。また、登録者数が増えたことや貸出回数・閲覧回数・ログイン回数の増加は電子図書館関連の予算増にもつなげていけるので、予算増となれば更に三郷市の電子図書が充実していきます。</p> <p>今年度の様々な事業も「やる・やらない」ではなく「どうすればできるか」という視点で考えていただき、感染症対策を考えて実施してきていただけたことを非常にうれしく思います。</p>
	資料4	<p>来年度計画においては【図書館】ではふれあいブックワゴンの活用と多様な読書支援に、【企画推進】においてはふれあいブックサポーターと秋の読書まつり2021に期待しています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症を経験している今だからこそ、今までの事業を更に市民に近いところまで届けるいいチャンスだと感じます。来てもらう図書館・来てもらうイベントからこちら(図書館・市)から市民(自体・職場・地域・手元のスマホやPC)に更にアクティブにアプローチしていくことや、また読書の幅を広げていけるいいきっかけにできると思います。</p>

第2次計画では計画のキャッチフレーズ『日本一「本とふれあえるまち」』を中心に掲げて、市の独自数値ではありますが読書密度という指数を定めての取り組みが具体的に進んでいくことがとても楽しみであります。想像するだけでドキドキします。読書密度が上がる取り組みが実施されること、それによって市民と本の密度(地域と機会と人の)が高くなっていき、より三郷市と三郷市民の文化度があがり、そこに育つ子どもたちの心が豊かになっていくことが非常に楽しみでしかたがありません。

この計画のふれあいブックワゴンに関する内容の中で『幼稚園』という文言がしっかり入っていることを、業界代表としてとても有り難く思います。今回幼稚園への貸出第1号としてスタートできたこと、ブックワゴンによるやり取りではなかったですが図書館司書の選定による団体貸出の2回目を行えたことは今後、1園だけではなく複数園につながっていけるきっかけとすることができると思います。【地域の読書密度】【機会の読書密度】【人の読書密度】のすべての読書密度を上げることにつながります。期待しています。また、幼稚園協会としても「依頼をすればブックワゴンで毎月団体貸出の絵本100冊を司書が選んで届けてくれる」ということが正式に決まれば各園の登園の実績も含めてしっかり伝えて、依頼する幼稚園を増やすことに協力をすることができます。また、各園の読書の取り組みや本への取り組みについて各園で温度差があると思いますが出してもらいまとめることもできます。

感染症の対策や感染の予防という第1次計画のときには考えてなくてもよかったことが第2次計画策定の最終段階で降りかかってきた非常に困難な計画策定だったと思います。しかしながら、この第2次計画が始まる前に感染症対策という考えを取り入れた計画を取りまとめられたことは逆によかったと思います。今までのことをさらに進めるということにはとどまらない発想を入れる必要があるためです。実際に具体的な案を出して計画を進めていく【図書館】や【企画推進係】の方は大変だと思いますがそのことが私たち三郷市民全体が日本一の読書のまちに込められた思いを高めることに繋がっていき、市と市民がより豊かになって、市民が今よりもより愛着もてる三郷市にもなっていけると思います。

3	その他	<p>コロナ禍においての図書館のあり方について様々な工夫がなされ「新しい生活様式」に対応した取り組みが素晴らしいと思いました。特にとじこもりがちな子ども達へのイベントはとても喜ばれたのではないのでしょうか。緊急事態宣言を受け再び休館になってしまったことはとても残念ですが、予約すれば貸出可能ということで私自身ホッとした次第です。外出自粛の今だからこそ本に触れ合うチャンスととらえ、保育園・学校・高齢者施設などブックワゴンを通じて本のある生活が定着していけるといいと思います。</p> <p>また、次期計画の「日本一本とふれあえるまち」実現に向けて活字離れた人達に再度読書の楽しみ方を再認識いただけるような機会を増やしていけるといいと感じました。図書館のホームページをPRし、時間にゆとりが持てる今、おすすめ・話題の本を紹介するサイト（現在は控えめですよね……）を充実させたり検索サイトの工夫をすることでより拡大に期待できるのではと思いました。</p> <p>ジャンルやある程度のしぼりこみで提案型のサイトとか（今は特定の本を探すタイプですよね）</p>
4	その他	<p>コロナ禍においての図書館運営は多くの制約がありご苦勞も多いことと思います。その中で様々な工夫やご尽力頂き、この場を借りて御礼申し上げます。</p> <p>私にとってステイホームにおける読書は不安な現実の中で気持ちを安定させる為にも大切なひとときでした。</p> <p>読書を支える為にも図書館は重要な存在です。今回の様な事態に備え、図書館が閉館になっても図書を借りる事ができるしくみを今まで以上に充実させることができれば……と考えます。</p> <p>電子図書の登録者数が増えていますので、蔵書及び利用者の借りたいと思う図書がより増えてくることを期待いたします。また、手にとって図書を選びたいという利用者の為にもブックワゴンの出張イベントを公園等で行う事で様々な人の読書にもつながると思います。</p>
5	資料4	<p>ふれあいブックワゴンの活用で以前から学校の団体貸し出しの本の運搬が先生の負担になっているようなので、ふれあいブックワゴンを活用していただきたいと思います。</p>
	資料5	<p>「第2次日本一の読書のまち三郷推進計画」について 読書密度と言う三郷市独自の数値をあげていますが読書を数値で表すのは反対です。</p>

6	資料1	<p>「コロナ禍での三郷市図書館」図書館閉館中はとても寂しい思いをしました。しかし、R2.5/23～31、またR2.12/26～現在の臨時休館期間は予約受付と、予約図書貸出と返却を対応していただき、とてもありがとうございます。</p> <p>私は図書館利用券のメールアドレス登録をしているので、インターネットによる蔵書予約を手軽にできるのですが、中にはその登録のやり方がわからず出来ない、していない人は不便な思いをしているのではないかと余計なお世話ながら危惧しています。予約の為に図書館に向くことは仕事や学校に行っている人や体の不自由な方は、負担に感じている人もいるのではないかと思います。以前よりお知らせしていただいているのですが、さらなる広報活動をしていただけたらと希望します。</p> <p>今後、感染状況にもよりますが、臨時休館中も時間（図書館滞在時間）と人数制限をして、一部入館許可（予約制）を考えていただければと思います。濃厚接触者等の行動を追えるように、住所と名前が必要でしょうか。（貸出利用券で対応できないか？）</p> <p>例えば、9：30～10：10（40分間），人数10名まで  10：30～11：10（40分間），人数10名まで など</p> <p>本を実際に手に取り、見てみることも、読書への扉の一步と思います。</p>
7	その他	<p>上記資料すべて目を通しました。</p> <p>コロナ対応で図書館事業が困難でありながらも、できる方法で事業を進められたのはよかったですと思います。</p> <p>第2次日本一の読書のまち推進計画については計画どおりに進めていただきたく思います。ただ、コロナ禍が続くようであれば計画変更を余儀なくされても、コロナ対応を最優先にいただければと思います。</p>
8	その他	<p>電子図書館の利用数が増加しているのがよくわかりました。書籍の充実を引き続きよろしくお願いします。中学校でも「お知らせ」を図書だより等に載せたいと思います。</p>
9	その他	<p>電子図書館など今の時代のニーズに合った取り組みがたくさんありました。「子ども達に向けて」だけではなく、すべての三郷市の人達が楽しく読書できるように様々な取り組みをされていることがよくわかりました。小学校教員として三郷市図書館との連携をはかりながら子ども達がさらに読書に親しめるようにしていきたいと思います。</p>